

おの100と後悔と成長

最初に大切なことを書きます。私は歴代の学生スタッフの中で一番変則的な学び方と関わり方をおの100でやった人間です。

私は8回、9回、10回、11回と計4回おの100と関わってきました。しかしながら、最初の参加した年以外は全て不完全燃焼で幕を下ろしました。言葉にするとすごく難しいのですが、簡潔にいうと理想通りの結果にならなかったと今ではそう感じています。

成長率に直接かかわる話をもう少し掘り下げていきます。恥ずかしながら私は人一倍要領が悪く視野の狭い個性を生まれながら持っています。それが原因でおの100の本質などを心で理解するのに相当時間がかかりました。4年間私はおの100と関わってきましたが、残念ながら、KAKIさんの言葉、学生スタッフの想いのある声、そして何よりもこんな自分を気にかけてくれた同期の学生スタッフ達の想いなどを受け入れることは出来ませんでした。頭では分かっていた。言葉の意味も理解していました。しかし、何故か納得できない自分がいました。

「KOMIは極端だからもっと、人の事を考えたら？」

色んな人から言われたこの言葉。今でも鮮明に覚えています。おの100の学生スタッフをやっていた頃は何をやっても空回りばかりだし、同期の学生スタッフはどんどん成長していく中、私は焦りと嫉妬で一杯でした。そんな想いのまま最後のおの100に参加したのだから、結局ラストイヤーのおの100も不完全燃焼で終わらせてしまいました。

自分にとっては学生スタッフとして参加できる最後の年になった第11回おの100。本番が終わり同期の学生スタッフが感動の涙を流している最中、私だけは一滴の涙さえ流しませんでした。

「あ、これで終わったんだ。そっか、そっか」

と、一切感動せずにしれっと1人で家に帰りました。本番が終わった後も、とりあえずMLを送る。とりあえずフォローアップに参加する。全部、とりあえずという浅はかな気持ちで本番後のおの100に関わり、気が付いたら社会人になっていました。

社会人になり、自分の生活は大きく変わりました。周囲を取り巻く人間関係やモノの価値観など。「え？」と目を疑うような辛い出来事もありました。そんな中、私がちょうど24歳になった頃です。

「おの 100 の研修で学んだことって、こういう意味があったのでは？」
「あの時、あの人が言っていた言葉ってこういう意味があったのでは？」
「自分が空回りした理由ってこういうことなのでは？」

と、4年間おの 100 と関わり、その中で吸収した言葉一つ一つがようやく納得して心に入っていました。だからこそ、自信を持って言えることがあります。それは、過去の自分とは違った視点でおの 100 が観られるようになったことです。そして何よりも、頭ではなく心で物事を考え、心で人と関わるのが習慣づきました。

ただ、過去やらかしてしまった後悔は消えていません。多分生涯残る後悔になります。しかし、その後悔が経験値となり、今の自分がいます。

最後にはなりますが、人には成長するタイミングがあります。周りの人と比べて焦ることもあると思いますが、焦る必要はありません。私みたいにおの 100 の意味を心で理解するのに6年かかる人もいれば、1時間で理解する人もいます。全て個性です。体験学習を積みれば必ず爆発的に成長します。

こんな私の文章ですが最後まで読んでいただき有難うございます。KAKI さん、ねえやん、おの 100 に関わるすべての皆様、学生スタッフの皆様、家族に、心から感謝をこめて。